

東野祥子 Yoko HIGASHINO

ANTIBODIES Collective 振付家・ダンサー。10歳からダンスをはじめ。類稀なる身体性を駆使し、社会的なメッセージを掲げた先鋭的な舞台作品を多く発表。国内外の劇場やフェスティバルでの公演は66都市を超える。'00~'14年「Dance Company BABY-Q」を主宰。その後京都に拠点を移し、'15年には「ANTIBODIES Collective」を結成。多ジャンルなアーティストとともに大掛かりな舞台作品制作やパフォーマンス、インスタレーションなどを全国並びに海外でも多数実践している。またダンサー育成のWSや学校へのアウトリーチなど、地域の活性化に根ざした活動にも定評がある。ソロワークとしてもミュージシャンや映像作家などとコラボレーションを展開する。受賞歴多数。全日本ダンストラック協会芸術監督・キュレーター。

所属カンパニー ANTIBODIES Collective
ホームページ www.antibo.org
連絡先(担当) 東野祥子
住所 〒606-0085 京都市左京区上高野隣好町2-5
電話 075-201-9729
E-mail info@antibo.org
在住地 京都府京都市
出身地 奈良県桜井市



活動歴・受賞歴

○活動歴

- 〈2000年〉「Dance Company BABY-Q」を立ち上げる。
- 〈2005~14年〉国内の劇場やオルタナティブスペース、Festival、海外での招聘公演にて総合舞台芸術作品を多数発表する。
- 〈2012年~現在〉DANCE TRUCK PROJECTを立ち上げる。
- 〈2015年〉「ANTIBODIES Collective」を京都にて立ち上げ、横浜、京都、大分などで作品を発表。
- 〈2016年〉「A界隈」—東京、「惑星共鳴装置」—東京、京都「MATAR」—イタリア
- 〈2017年〉「残響」—京都、東京「STABAT MATAR」—オランダ
- 〈2018年〉「エントロピーの楽園」—横浜、犬島
- 〈2019年〉瀬戸内国際芸術祭「エントロピーの楽園—第2章—」—犬島「カセット100/TPAM」—横浜
- 〈2020年〉「CropsSureal」—デンマーク、東京、京都
- 〈2021年〉「あらゆる人のための、誰のためでもない世界」—京都、兵庫、東京

〈2022年~〉「LIMINAL」兵庫、東京など、劇場や野外、島、美術館、工場などで大掛かりな舞台公演を行っている。

○受賞歴

- 〈2004年〉TOYOTAコレオグラフィアワードにて「ALARM!」を発表。「次代を担う振付家」賞を受賞
- 〈2005年〉横浜ダンスコンペティションにて「ZERO HOUR」を発表。群舞部門「未来に羽ばたく横浜」賞を受賞
- 〈2010年〉舞踊批評家協会新人賞
- 〈2022年〉令和4年度文化庁芸術祭「新人賞」受賞

ワークショップ歴

- 〈2002~15年〉「BABY-Q DANCE WS」
対象：一般 主催：BABY-Q Dance Lab.
- 〈2006年〉「100時間WS&公演」
対象：一般 主催：伊丹市・AI-HALL
- 〈2006年〉「キノコ踊り」
対象：高齢者 主催：越後妻有トリエンナーレ

〈2006年、2010年~現在〉「表現プログラム」

- 対象：小学生 主催：(財) 横浜市文化振興財団
- 〈2008年~現在〉「これって何ダンスですか？」
対象：一般 (石川/福岡/島根/長野/兵庫/岐阜などの公共ホール) 公共ホール現代ダンス活性化事業
- 〈2009年より数回〉「ASIAS / パフォーマンスキッズトーキョー」
対象：小学生 主催：芸術家と子どもたち
- 〈2011年〉「灼熱オドリタイム」 WS&公演
対象：子ども 主催：多治見市文化会館ほか多数
- 〈2015年~現在〉東野祥子ダンスワークショップを継続的に行う。
- 〈2016年〉イタリアにてパーキンソン病の方々にダンスWS「DanceWell」を美術館で実施。
- 〈2019年〉イタリアにてパーキンソン病の方に向けたダンスWS講師の資格取得
- 〈2020年~現在〉ダウン症の子供たちと、パティ walkや水玉ダンスFestivalなどでのワーク、自主企画としてイキイキダンスワークショップを定期的に行う。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校 de DANCEワークショップ

からだをほくし、他者とのコミュニケーションで身体と心をのびのび解放し、ダンスをはじめていきます。想像力豊かに、からだで絵をかいたり、イメージを形にしたり、見えないボールをキャッチボールをしたり、言葉から動きを見つけてみたり。みんなで一緒にダンスの楽しさ、表現の自由さを見つけていきます。

②ワクワクダンスワークショップ

「高齢者」「親子」「教師」「介護士」など、それぞれ

の「わく」内の対象に適したプログラムを組み、集中的にワークショップを行うことが可能です。ダンスで身体を感じ、それぞれの個性を引き出す創造性豊かなワークショップを実施します。

③野外でDADAダンス

室内に閉じこもりがちな現代の生活スタイルから抜け出し、参加者が野外に連れ出し、まずは深呼吸、身体を使って遊びながらダンスをしていきます。原っぱや公園、野外にあるオブジェなどを使い、身体で異空間を創作していきます。

①~③などその土地や人柄に応じたワークショップを開催します。

公募ワークショップ

①『ダンスって自由でおもしろい!』

ワークショップ初心者の方からダンサーを目指す方まで参加できるWS。からだのリラックスした状態を意識し、ダンスの基礎から応用、即興での動き方、人を動かしたり動かされたり、言葉で動きを見つけたり、自分の感覚が研ぎ澄まされていきます。最後には自分で作った簡単な作品も出上がりします。

この事業で可能な公演スタイル

レパトリー作品

①「LIMINAL」

2022年に発表したカンパニー作品を現地の会場や規模に合わせてリクリエーションし、再演する。

- ▶上演時間：70分
- ▶出演者数：4名(登録アーティスト+音楽家+ダンサー2名)
- ▶同行スタッフ：美術家1名
- ▶現地スタッフ：照明1名
- ▶上演環境：劇場のサイズや機構に応じます。

市民参加作品

①「新作」

地域の特性、地域の参加者のキャラクターや技量に応じて新しい舞台芸術作品を創作します。構造はその劇場に合わせて舞台美術やシーンを構築し、カンパニーメンバーと地域の一般参加者が一体となって創作していく先鋭的な舞台作品。

- ▶上演時間：60分
- ▶出演者数：3名(登録アーティスト+音楽+共演者)
- ▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・

回数：5~25名程度・2時間以上4回程度

- ▶同行スタッフ：振付アシスタント・映像作家・美術作家そのうちいずれか
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名。状況に応じます。
- ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：会場に応じます。(2)床：リノリウム(黒もしくはグレー)(3)必要機材：プロジェクター・音響設備など
- ▶その他：ホールの中庭やホワイエ、客席なども舞台空間とし、観客が移動して観て廻ることも可能です。